

環境省が取り組む温泉地の活性化「新・湯治」について

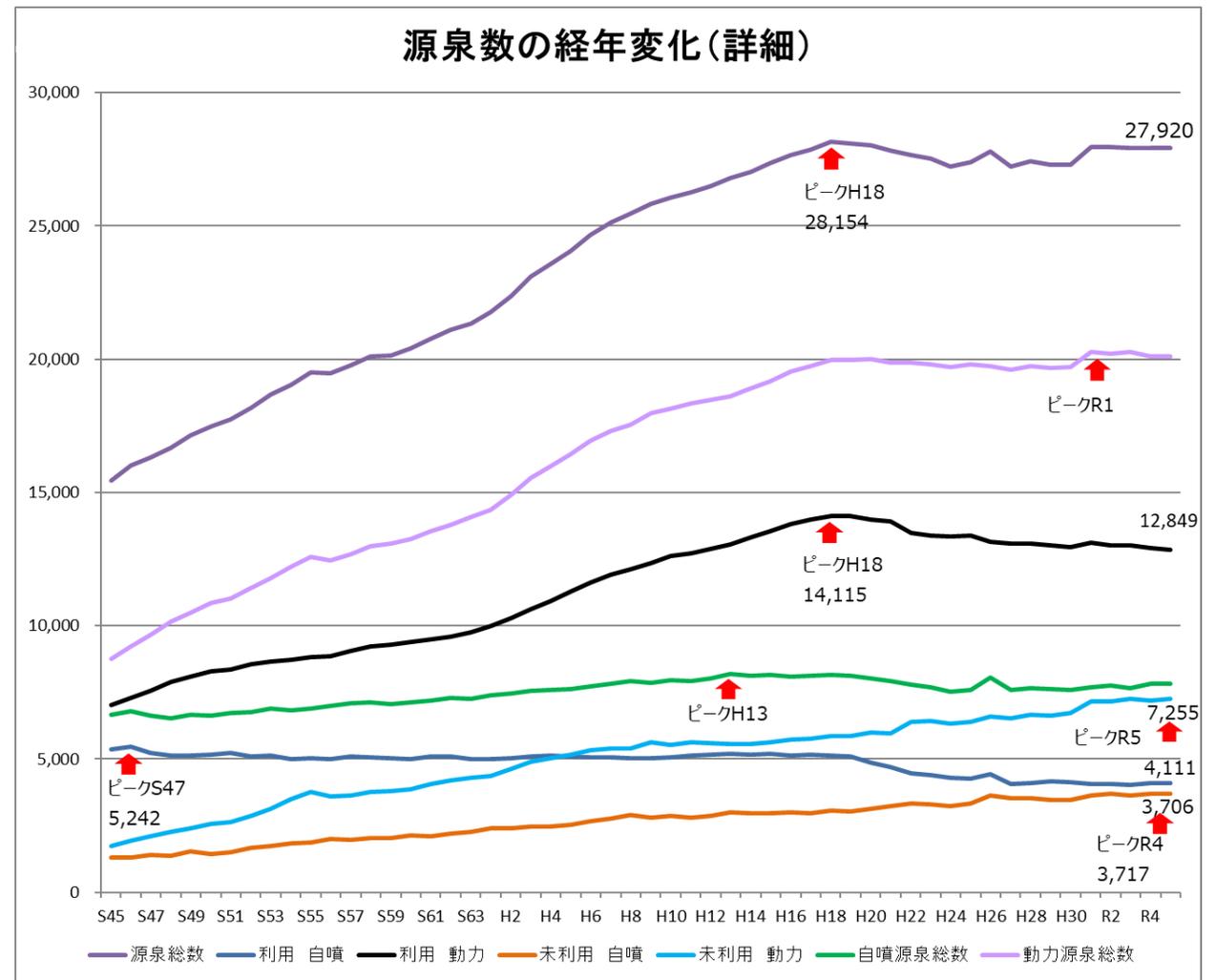
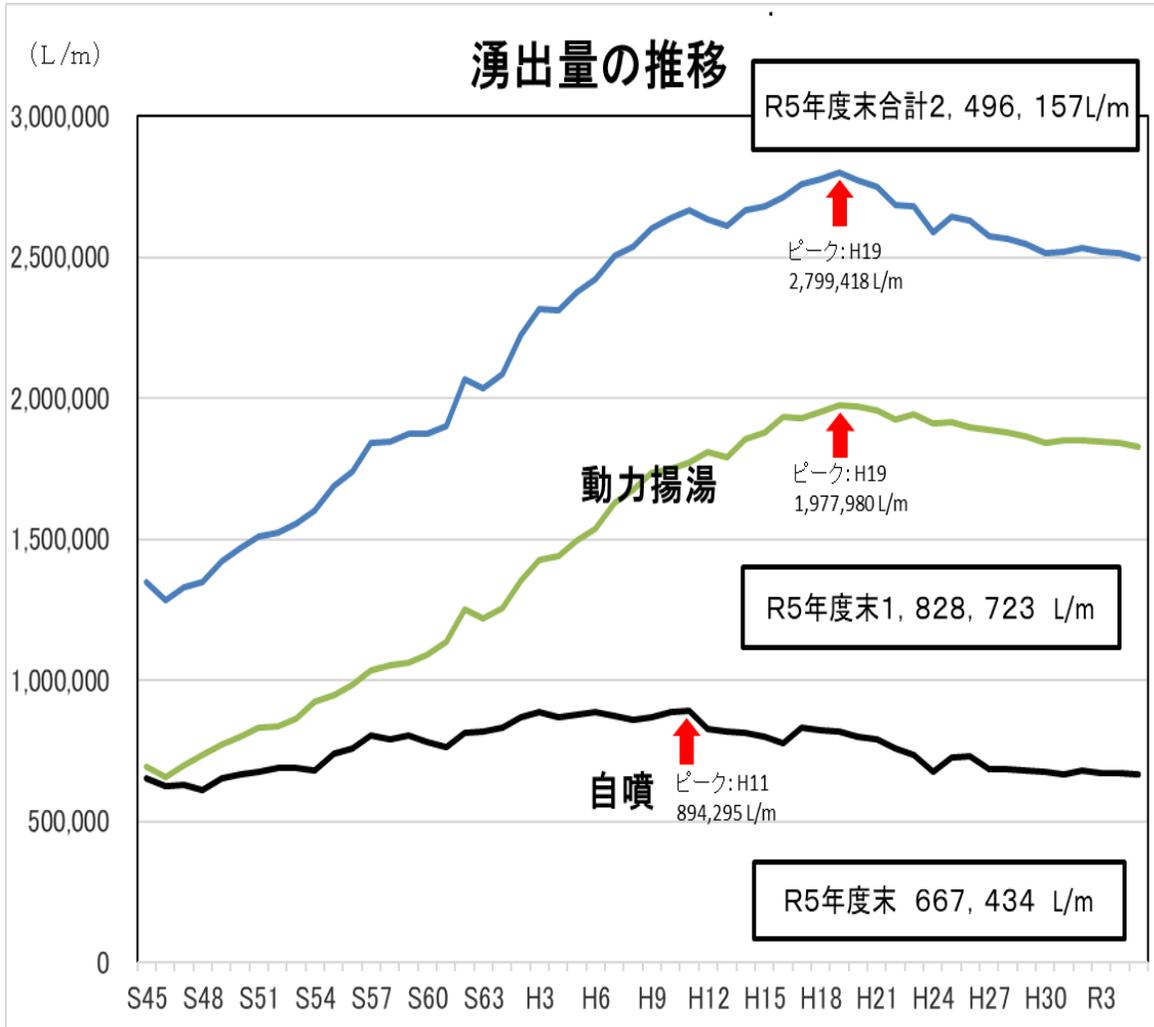
新・湯治 

令和7年9月

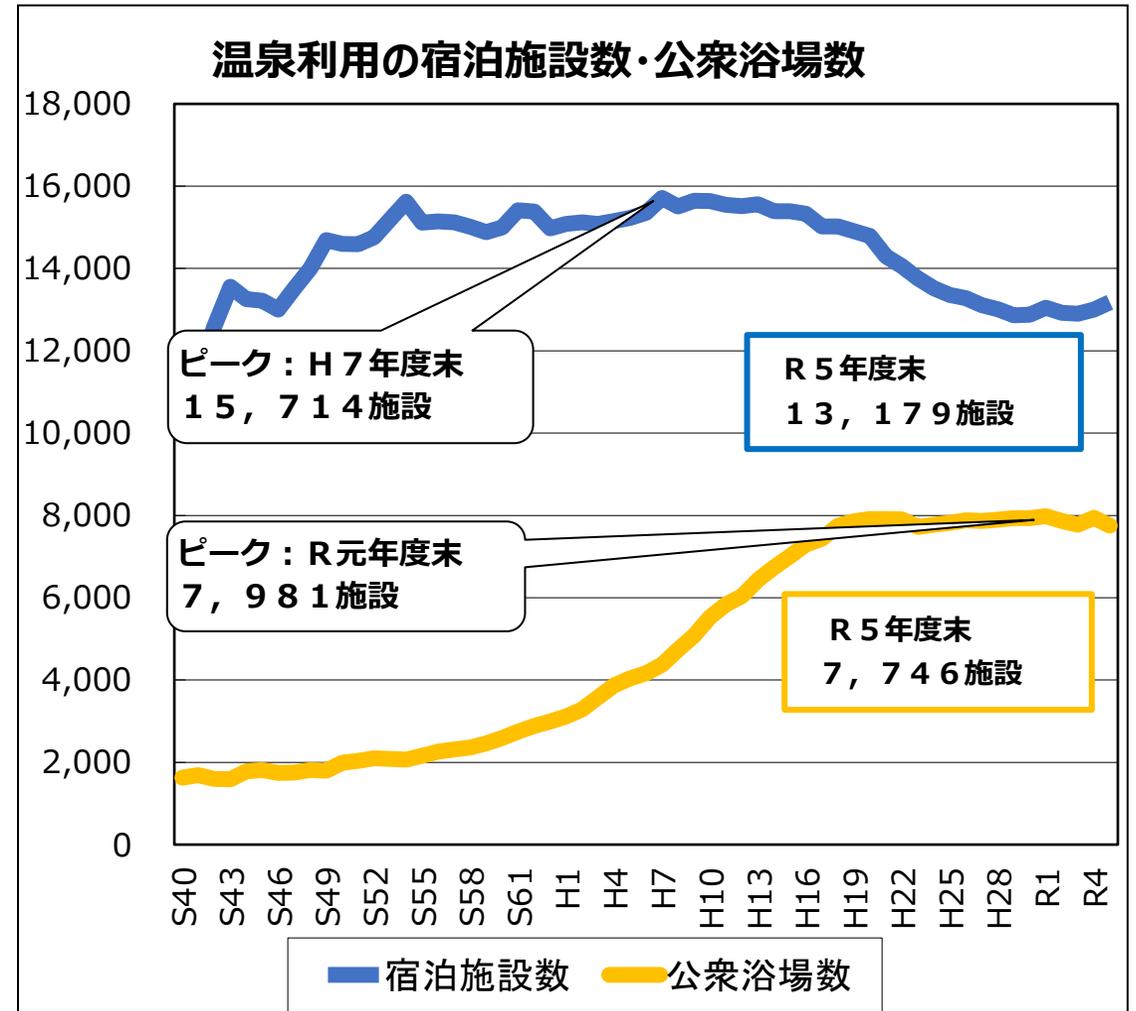
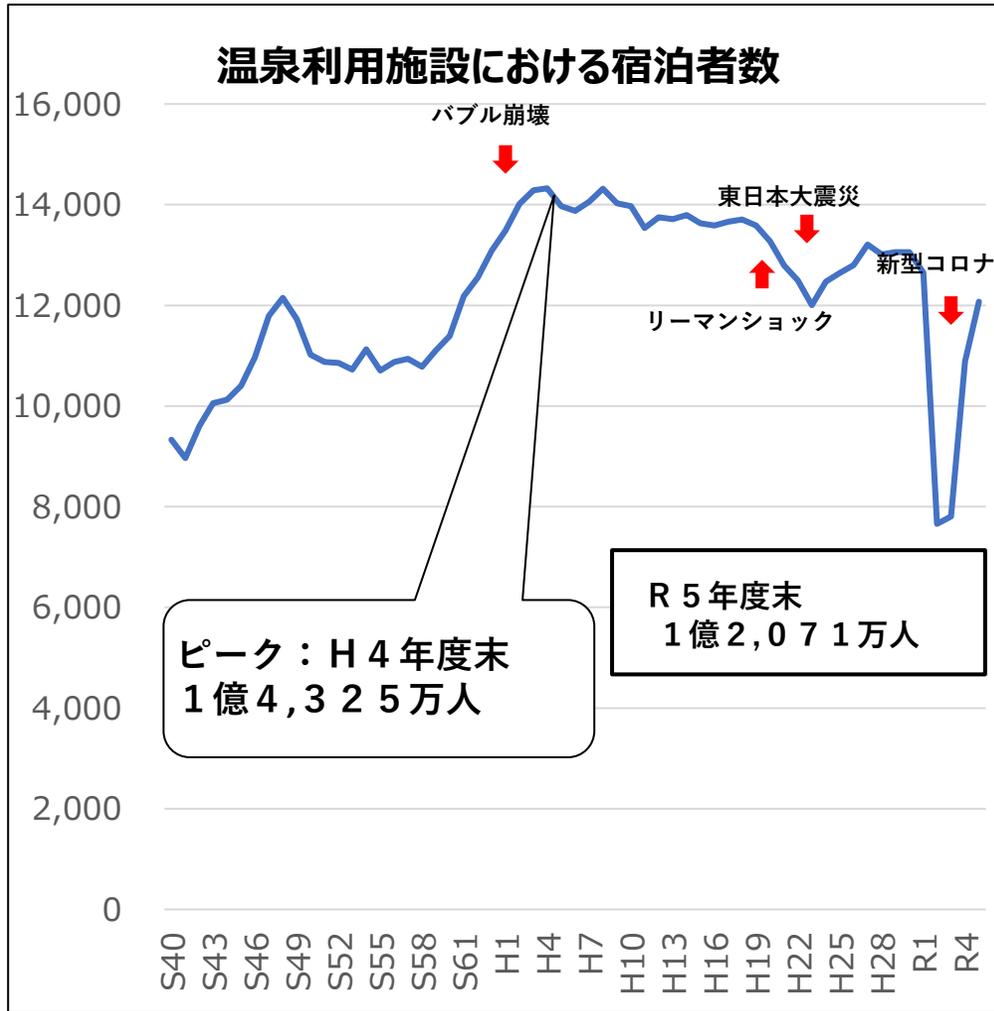
環境省

自然環境局自然環境整備課

温泉地保護利用推進室



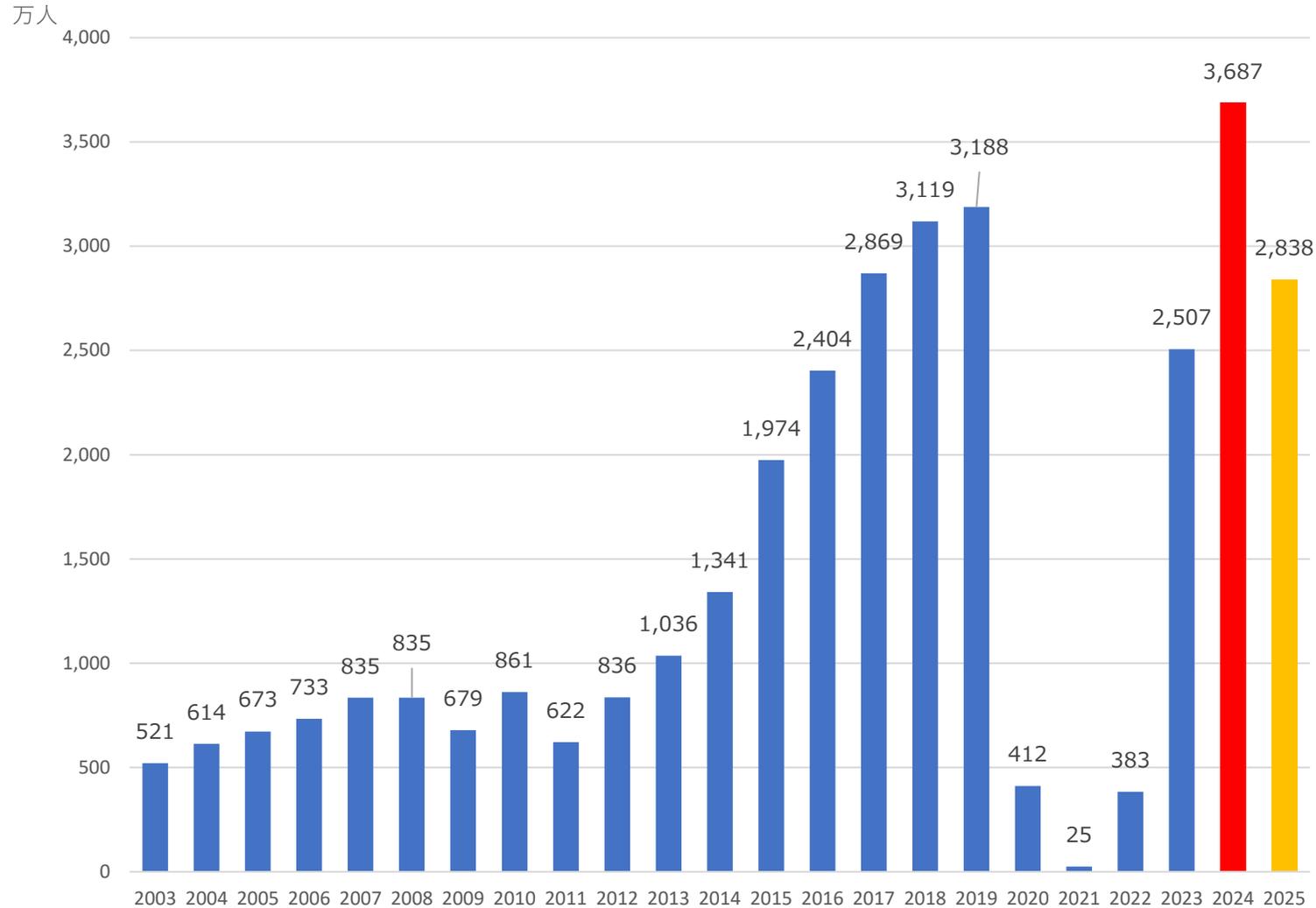
- 湧出量は、平成19年（2007年）をピークに減少傾向
- 源泉総数は、平成19年（2007年）をピークに横ばい



- 宿泊者数は、平成5年(1993年)をピークに減少傾向 (※近年は1.3億人前後 (※コロナ期を除く))
- 温泉利用の宿泊施設数は、平成7年(1995年)をピークに減少傾向(最近5年くらいは横ばい)
- 温泉を利用する公衆浴場数は、平成に入って急増し平成20年(2008年)以降は横ばい

- 訪日外国人旅行客数は、2024年度で過去最高を記録（36,870,148人）
- 2025年度 1月～8月期は過去最速のペースで2500万人を突破
- 2025年4月 単月として過去最高（390万人）

訪日外国人旅行者数の推移



出典：（独）国際観光振興機構（JNTO）
訪日外客数（2025年8月推計値）
を基に環境省作成

温泉地の変遷

古来～江戸時代：温泉地に長期滞在し、入浴して病気を治療する「湯治」

明治以降：「保養・休養の場」としての温泉地の開発の推進

戦後高度成長期：団体旅行としての温泉地の発展、単なる「宴会の場」に・・・

バブル崩壊以降：団体旅行が減少し、個人旅行に旅行形態が変化。各地で温泉地が衰退。

温泉のチカラ（効果）、温泉地が持つ地域資源を十分に活用できていない

新・湯治
とは

温泉地の役割を見直し、「新・湯治」を提案

- ・ 温泉入浴に加えて、周辺の**自然**、**歴史・文化**、**食**などを活かした多様なプログラムを楽しみ、地域の人や他の訪問者とふれあい、心身ともに元気になること
- ・ 年代、国籍を問わず楽しめる
- ・ 長期滞在を行うことが効果的

- 現代のライフスタイルに合わせて来訪者が心身ともにリフレッシュできる場や機会を提供
- 温泉地を核にして、社会に活力を！

<「新・湯治」>

「湯治」

温泉地に長期滞在し、入浴して病気・ケガを治療。



「地域資源の魅力」

自然、歴史・文化、食

元気になる温泉地での様々な過ごし方



- 温泉入浴に加え、温泉地の持つ地域資源の魅力を活かし、リフレッシュできる滞在空間を。
- 長期の滞在、リピートを促し、持続可能な温泉地に。

温泉地を核として、人も地方も元気に！！

新・湯治推進プラン

.. 「新・湯治」を提供する場としての新しい温泉地のあり方、環境省や関係機関に求めることをまとめたもの

楽しく、元気になるプログラムの提供

- ・泉質、地域資源を活かしたプログラムの提供
- ・多様な温泉地間の連携による情報発信等
- ・年代、国籍を問わず、長期滞在しやすい宿泊プランづくり

温泉地の環境づくり

- ・外湯めぐりの充実といった「にぎわいの創出」
- ・周辺の自然環境等の地域資源を一体的に評価し、持続的な利用（温泉熱利用、モニタリング）
- ・温泉地を拠点とした広域周遊、国立公園満喫プロジェクトとの連携

推進体制の構築等

- ・地域会社設立や観光組織（DMO等）の活用による体制づくり、財源確保
- ・地域外の民間企業等との連携
- ・関係省庁の連携

「新・湯治」の効果の把握と普及、全国展開

- ・温泉地全体の療養効果等を科学的に把握し、その結果の情報発信
- ・統一フォーマットの提示により、全国的なデータの蓄積、評価、公開
- ・ストレス社会、健康長寿社会における重要性を踏まえた準備

国民保養温泉地が
中核的・先進的な役割

「新・湯治推進プラン」実現に向けた環境省ロードマップ

1 「チーム新・湯治」の活動を展開します。	「新・湯治」の考えを共有する地域、自治体、団体等を「チーム新・湯治」として緩やかにネットワークでつなぎ、互いに情報・意見交換するとともに、 <u>温泉地と企業等のマッチングを促進</u> します。
2 全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトを実施します。	<u>温泉地で過ごすことのリフレッシュ効果等を把握する調査を全国で実施し、結果を温泉地のPR等に活用</u> します。
3 温泉熱の有効活用を進めます。	温泉熱の有効活用は、温暖化対策や地域経済の安定に重要ですが、活用が進んでいるとは言えません。 <u>ガイドラインなどのツールを作成して普及を図るとともに、補助事業の効果的な運用</u> を行います。
4 国民保養温泉地の活用方法を検討します。	国民保養温泉地は、国民の保養・休養の場として環境省が指定している温泉地であり、「新・湯治推進プラン」の中核的な役割を担うことが求められます。 <u>国民保養温泉地の社会的な意義の改めて見直し、その向上に努め</u> ます。
5 インバウンド対策を推進します。	外国人旅行者のニーズが多様化する中で、温泉地への旅行者も増加傾向にあります。「チーム新・湯治」において、 <u>インバウンドをテーマとしたセミナーを開催</u> するなどにより情報提供などを行います。

チーム員等からの活動状況等を共有する場として全国大会を開催

R6.11.1 【第6回全国大会】温泉地でのダイバーシティ（多様性）

R7.11.7 【第7回全国大会】大学生と考える温泉地の魅力

温泉地のインバウンド食の多様性の可能性！

高橋敏也 氏（一般財団法人メイドインジャパン・ハラル支援協議会 理事長）







食のルールを持つ人口内訳

イスラム教徒 20億人 (A)
ヒンドゥー教徒 11億人 (B)
ユダヤ教徒 0.2億人 (C)
その他 2億人

食の一人一口内訳 49億人
19% フォード・ハラル
(A) アラビア・イスラエル系
10% ヒンドゥー系
0.2% ユダヤ系
その他 18%

ムスリムの温泉対応

ムスリムの温泉地への対応は、温泉地側が提供するサービスと、ムスリム側が求めるサービスとの両方を満たすことが重要です。

温泉はダイバーシティの理解促進工場

長島隆 氏（ビッグロブ株式会社 ONSEN WORKプロジェクト エグゼクティブプロフェッショナル）





温泉は日本の宝

様々な人々に利用して欲しい

- ・インバウンドにも人気の温泉。英語で「ONSEN」で通じる
- ・外国人でも利用できる施設を紹介して欲しいという声も聞いている
- ・誰もが楽しめる魅力を開発したい

温泉ってダイバーシティ

誰もが理解し合えて誰もが楽しめる環境に

温泉地とダイバーシティ事例発表

中澤牧子 氏（草津温泉ホテルヴィレッジ 取締役）





お客様のダイバーシティについて考える

高齢者対応、外国人対応、多国籍対応、多国籍で楽しむ温泉、多国籍で楽しむ温泉、多国籍で楽しむ温泉

職場環境のダイバーシティについて考える

多国籍で楽しむ温泉、多国籍で楽しむ温泉、多国籍で楽しむ温泉

歩み入る者にやすらぎを 去りゆく人にしあわせを

草津温泉ホテルヴィレッジ社（草津町民会館）

東鳴子温泉ひとにやさしい温泉地プロジェクト

橋本惇 氏（株式会社JTB総合研究所地域交流共創部 研究員）




温泉に入りづらい方がある、ということ

入浴に難儀な方、高齢者の方、障がい者の方、外国人の方、外国人の方、外国人の方

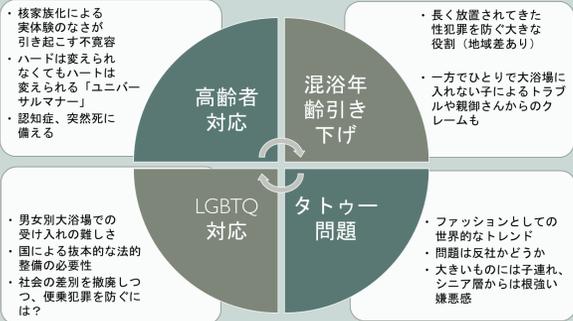
当事者の意見

「お風呂以外」の回りことも多い

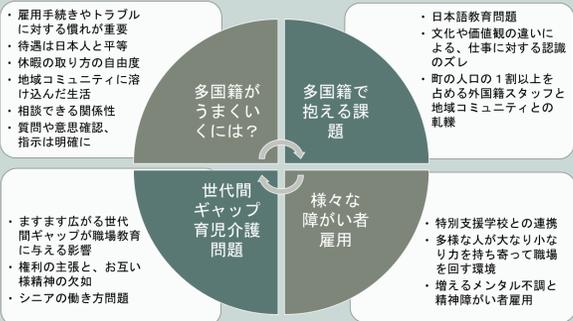
まとめ

一人ひとりのニーズに「可能な範囲で応えられるのがひとにやさしい温泉地」

お客様のダイバーシティについて考える



職場環境のダイバーシティについて考える



温泉に入りづらい方がいる、ということ

株式会社JTB総合研究所

- ⚠️ 人前で裸になることに抵抗感を感じる方がいます。
- ⚠️ 抵抗感を感じる理由は様々ですが、「人前で裸にならずに済む」ならば温泉を楽しめるのではないかと考えました。

外国の方

手術跡のある方

性的マイノリティ*の方



などなど・・・



画像: 性教育いらずと (<https://seikyokuikuillust.com/>)

*特にトランスジェンダーやXジェンダーなど、出生時に割り当てられた性別と性自認が異なる方にとって



家族でさえ、同じではない

②温泉大賞におけるダイバーシティ対応

ONSEN WORK by BIGLOBE

温泉は日本の宝
だから

様々な人に利用して欲しい

- ・インバウンドにも人気の温泉。英語で「ONSEN」で通じる
- ・車椅子でも利用できる施設を紹介して欲しいという声も届いている
- ・誰もが楽しめる魅力を発信したい



Copyright(C)BIGLOBE Inc. 2024

(画像出典: 第6回 チーム新・湯治全国大会 講演資料 https://www.env.go.jp/nature/onsen/spa/spa_team.html)

(右上) (一社)メイドインジャパン・ハラール支援協議会理事長 高橋 敏也氏
 (右下) ビッグロブ株式会社ONSEN WORKプロジェクト エグゼクティブプロフェッショナル 長島 隆氏
 (左上) 草津温泉ホテルヴィレッジ 取締役 中澤 牧子氏
 (左下) 株式会社JTB総合研究所 地域交流共創部 研究員 橋本 惇

毎年度3回程度、温泉に関する課題や取り組みをともに考えるセミナーを開催し、毎回様々なテーマでチーム員の新たな気づき・学ぶ機会を設けています。

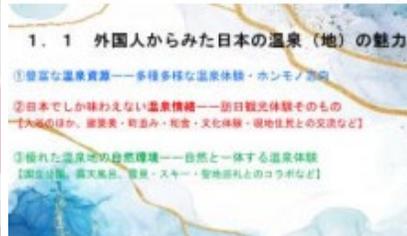
(直近の活動実績)

- R6.7.31 【第17回セミナー】 「泊食分離」が生み出す温泉地の新たなつながり・にぎわい創造
- R6.12.16 【第18回セミナー】 温泉旅館の女将が描く今後の温泉地の姿
- R7.2.18 【第19回セミナー】 外国人から見た日本の温泉文化
- R7.7.29 【第20回セミナー】 ONSEN・ガストロノミー・ツーリズムを通じた温泉地のさらなる磨き上げ

明治期における欧米人の目から見た
日本の入浴文化
Julie Nootbaar 氏
(大分県立芸術文化短期大学 教授)



外部視点からの日本温泉（地）の
魅力再発見・再評価
于航 氏
(城西国際大学観光学部 准教授／
日本温泉地域学会 理事)



日本で温泉に入る欧米豪圈旅行者が
一番気にしていること
Frank Walter 氏
(エクスポート・ジャパン株式会社 クリエ
イティブ事業部長)





ONSEN
ガストロノミー ツーリズム

めぐる 食べる つかる

温泉地を『めぐる』

その土地ならではの
食事・地酒を
『食べる』

ウォーキングの後は
温泉に
『つかる』

ONSEN・ガストロノミーツーリズムの歩み～国民保養温泉地と共に～ 小川正人氏（一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構 理事長）



ガストロノミーツーリズムに関して

ガストロノミーツーリズムの定義

「その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しむ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズム」

欧米を中心に世界各国で多くの取組がなされている。国連の推奨する地域社会の持続可能な発展、雇用の促進を果たすうえで重要な役割を担っている。



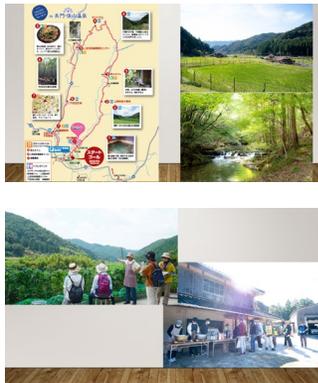
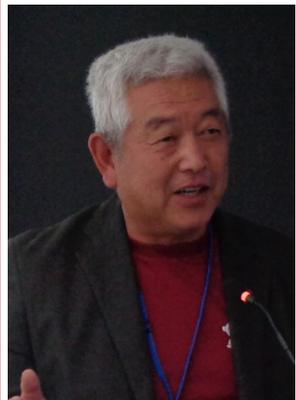
ONSEN・ガストロノミーウォーキング重要要素



ストーリーをどう伝えるかが重要



新湯治で活性化 ～絶景も名物もないけれど...西の横綱 俵山温泉オンガス10年を検証～ 藤永義彦氏（株式会社SD-WORLD 代表取締役）



火山と共存している雲仙でONSENガストロノミー 荒木正和氏（一般社団法人雲仙観光局地域営業部部长）



新たな発見と喜び～楽しくてしょうがない～ 織田智富氏（一般社団法人那須塩原市観光局 代表理事/局長）



「新・湯治推進プラン」実現に向けた環境省ロードマップ

1 「チーム新・湯治」の活動を展開します。	「新・湯治」の考えを共有する地域、自治体、団体等を「チーム新・湯治」として緩やかにネットワークでつなぎ、互いに情報・意見交換するとともに、 <u>温泉地と企業等のマッチングを促進</u> します。
2 全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトを実施します。	<u>温泉地で過ごすことのリフレッシュ効果等を把握する調査を全国で実施し、結果を温泉地のPR等に活用</u> します。
3 温泉熱の有効活用を進めます。	温泉熱の有効活用は、温暖化対策や地域経済の安定に重要ですが、活用が進んでいるとは言えません。 <u>ガイドラインなどのツールを作成して普及を図るとともに、補助事業の効果的な運用</u> を行います。
4 国民保養温泉地の活用方法を検討します。	国民保養温泉地は、国民の保養・休養の場として環境省が指定している温泉地であり、「新・湯治推進プラン」の中核的な役割を担うことが求められます。 <u>国民保養温泉地の社会的な意義の改めて見直し、その向上に努め</u> ます。
5 インバウンド対策を推進します。	外国人旅行者のニーズが多様化する中で、温泉地への旅行者も増加傾向にあります。「チーム新・湯治」において、 <u>インバウンドをテーマとしたセミナーを開催</u> するなどにより情報提供などを行います。

温泉地の協力を得て、温泉地全体で得られる療養効果を全国初の統一フォーマットで把握し、全国の温泉地の視点に立って情報発信するため、平成30年度より6年分(19,575件)の調査結果をとりまとめたもの。

結果①

温泉地滞在後は心身に良い変化が得られた

結果②

ゴルフや登山などの運動、周辺観光や食べ歩き、マッサージやエステなどのアクティビティを行うこと等が、より良い心身への変化に関連

結果③

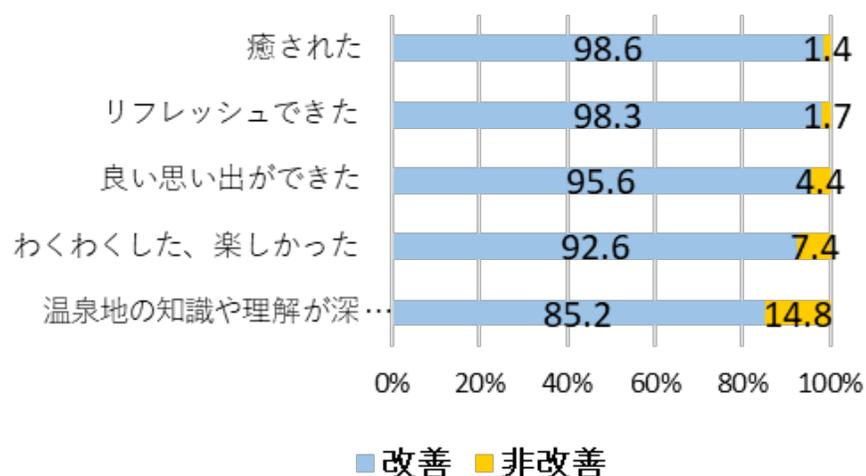
長期間の温泉地滞在ではなくても日帰りや1泊2日、年間を通して高頻度で温泉を訪れることで、心身への良い影響

全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト (6カ年調査結果(平成30年度-令和5年度))

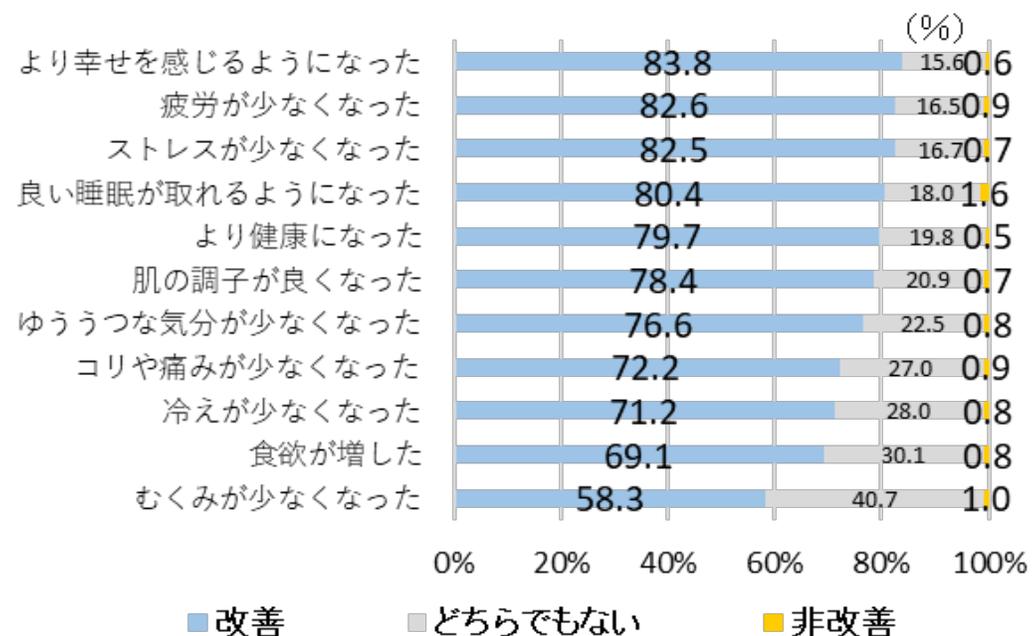
■主な調査結果

(1) 温泉地訪問・利用後の主観的变化

①温泉地訪問の主観的な感想(複数回答)



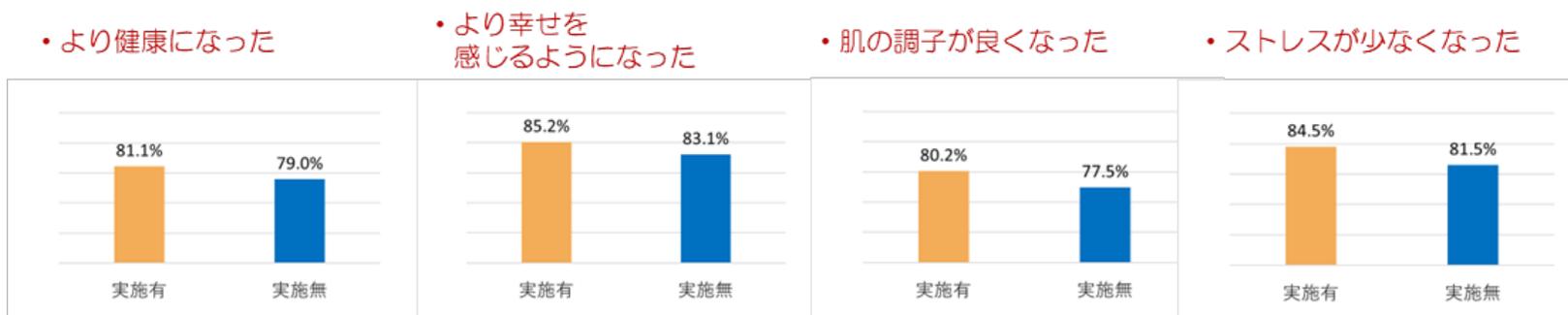
②温泉地利用後の心身の主観的变化(複数回答)



- 温泉地訪問の主観的感想では、「癒された」「リフレッシュできた」「よい思い出ができた」「わくわく、楽しかった」を9割以上の者が実感し、良好な変化があった。
- 温泉地利用で、「幸せを感じる」「疲労」「ストレス」「睡眠」など多くの主観的項目で8割以上の者が改善したという変化を感じていた。

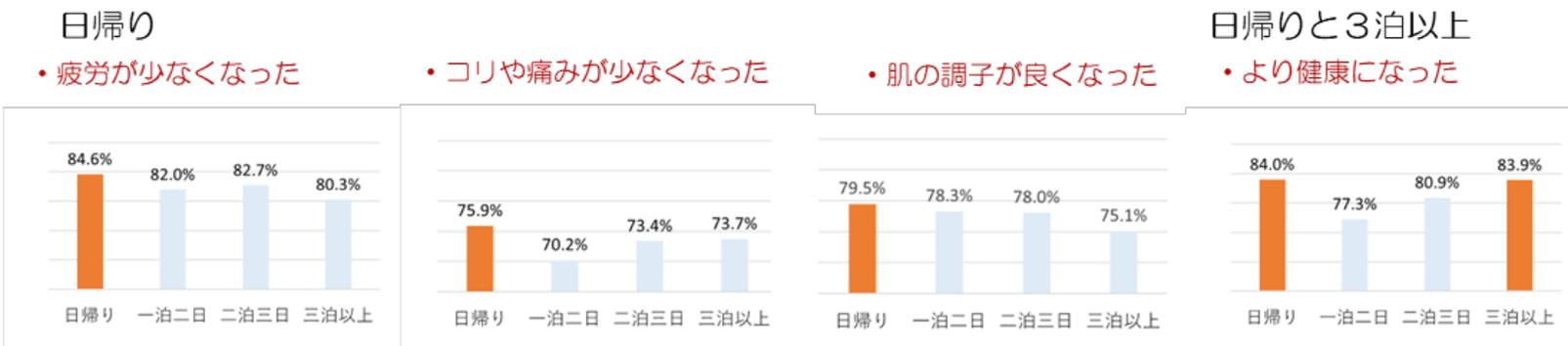
全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト (6カ年調査結果(平成30年度-令和5年度))

(2) アクティビティ(ゴルフ登山などの軽い運動、周遊観光、エステ等)の実施の有無と温泉地滞在前後の主観的変化の関連 (有意差のあったものから抜粋)



⇒ 温泉に浸かるだけでなく、軽い運動や周辺観光や食べ歩き、マッサージやエステなどの何らかのアクティビティに参加すると、心身の主観的変化で改善した者の割合が高かった。

(3) 1回あたりの温泉地滞在期間と滞在前後の心身の主観的変化の関連 (有意差のあったものから抜粋)

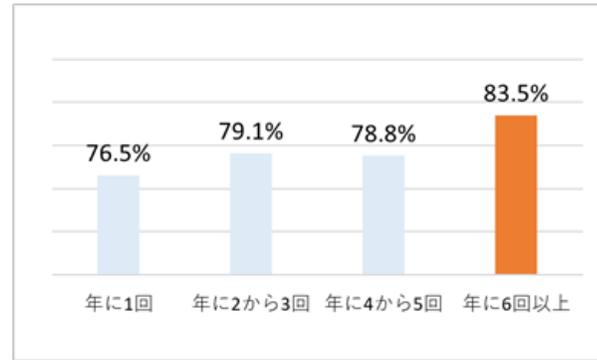


⇒ 「日帰り」の短期間の温泉地滞在でも一定の改善傾向が認められ、十分な時間が取れない人においても一定の療養効果の享受が可能。

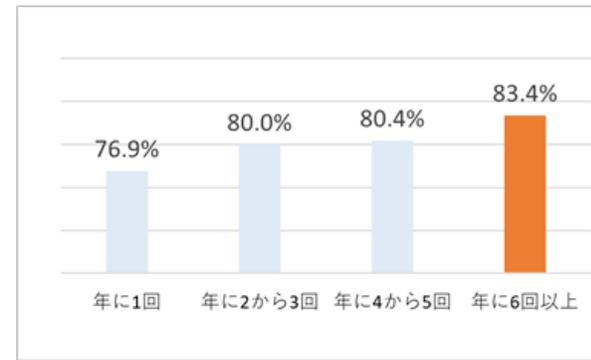
全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト (6カ年調査結果(平成30年度-令和5年度))

(4) 1年間の温泉地訪問回数と温泉地滞在前後の心身の主観的変化の関連(有意差のあったものを抜粋)

①より健康を感じるようになった



②ぐっすりとした良い睡眠が取れるようになった



⇒ 現代のライフスタイルに合わせて、短期間の温泉地訪問を年に複数回行うことでも、様々な療養効果を得られる。

本調査で使用した同じフォーマットのアンケートを利用すれば、全国の温泉地と比較することも可能となり、温泉地の活性化を考える際において、その温泉地独自の特色やメリットを把握するツールにもなります。

【アンケートフォームや、集計ツールはこちらをご活用ください】

https://www.env.go.jp/nature/onsen/spa/spa_project.html



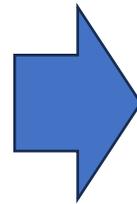
これまでの調査プロジェクト

- ▶ 全国の温泉地訪問客を対象
- ▶ 温泉地訪問を通じた感想や健康状態の変化等についての**主観的な内容**に関するアンケート調査



今後の調査プロジェクト

- ▶ 全国の温泉地訪問客を対象
- ▶ 温泉地訪問を通じた健康状態の変化等についての**客観的な内容**に関する調査



「新・湯治」効果測定調査プロジェクトの今後の展開 (客観的なエビデンスに基づく新たなプロジェクト (R7~))



(画像出典：株式会社 SOXAI <https://soxai.co.jp/>)

【研究目的】

- 温泉地滞在における効果を温泉地滞在の前後比較により実験的に計測する。
- 温泉地滞在中、アクティビティの参加有無の比較により、滞在効果を実験的に比較する。

【開催場所】 大分県豊後高田市

【調査方法】 「ランダム化比較試験」とし被検者を2群に分け、温泉入浴、アクティビティ有無の各調査項目について変化を比較検証する。

【被検者】 (R7年度) 合計20名程度

【調査内容】 指輪型デバイスSOXAI Ringを装着し、心拍数、心拍変動、皮膚表面温度、睡眠時間・睡眠効率、血中酸素濃度を継続的にデータ収集し、自律神経の動き、睡眠状態、末端冷え性状態などを計測する。また同時に従来の紙ベースでの「新・湯治」調査票と、気分調査票などの学術的根拠のある自記式調査票も併用して実施する。

国民保養温泉地とは：温泉法第29条に基づき温泉の公共的利用増進のため、国民の保健休養に重要な役割を果たす温泉地として環境大臣が指定。

・昭和29年に「酸ヶ湯（すかゆ）（青森）」、「四万（しま）（群馬）」、「奥日光湯元（栃木）」を指定以降、令和7年9月現在で79の温泉地が指定されている。

選定基準（概要）

第1 温泉の泉質及び湧出量に関する条件

- (1) 利用源泉が療養泉であること。
- (2) 利用する温泉の湧出量が豊富であること。なお、湧出量の目安は温泉利用者1人あたり0.5リットル/分以上であること。

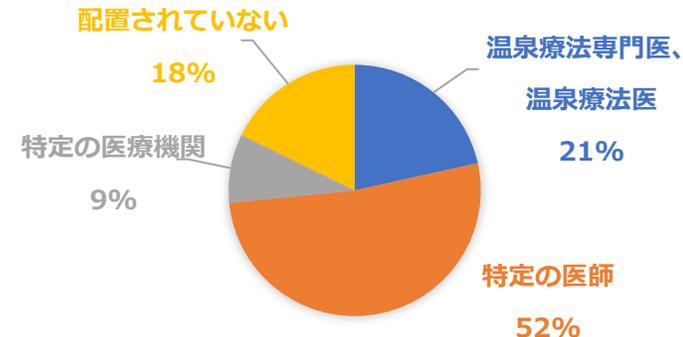
第2 温泉地の環境等に関する条件

- (1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の観点から保養地として適していること。
- (2) 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等が確立していること。
- (3) 温泉資源の保護、温泉の衛生管理、温泉の公共的利用の増進並びに高齢者及び障害者等への配慮に関する取組を適切に行うこととしていること。
- (4) 災害防止に関する取組が充実していること。

近年の新規・拡張指定

H29	大館ぐるみ温泉郷（秋田）、梅ヶ島温泉郷（静岡）、湯郷温泉（岡山）
H30	湯野浜温泉（山形）、みなかみ町国民保養温泉地（群馬）
R1	あつみ温泉（山形）、湯布院温泉郷（大分）
R2	南小国温泉郷（熊本）
R4	由良温泉（山形）、湯の児・湯の鶴温泉（熊本）

国民保養温泉地における医師の配置状況



国民保養温泉地一覽 (令和7年9月現在)

名称	道府県	所在地	指定年月日	名称	道府県	所在地	指定年月日
方ル又温泉	北海道	登別市	S32.9.27	美ヶ原温泉	長野	松本市	S58.3.28
二セコ温泉郷	"	磯谷郡蘭越町、虻田郡二セコ町	S33.11.1	奥飛騨温泉郷	岐阜	高山市	S43.11.19
芦別温泉	"	芦別市	S48.3.30	白川郷平瀬温泉	"	大野郡白川村	S55.3.27
ながめま温泉	"	夕張郡長沼町	S63.7.1	小坂温泉郷	"	下呂市	S58.3.28
豊富温泉	"	天塩郡豊富町	H4.1.13	畑毛・奈古谷温泉	静岡	伊豆の国市、田方郡函南町	S49.3.23
酸ヶ湯温泉	青森	青森市	S29.10.11	梅ヶ島温泉郷	"	静岡市	H29.5.15
八幡平温泉郷	岩手	八幡平市	S34.9.3	久美の浜温泉郷	京都	京丹後市	H8.5.2
	秋田	仙北市、鹿角市		るり溪高原温泉	"	南丹市	H12.5.11
大館ぐるみ温泉郷	"	大館市	H29.5.15	浜坂温泉郷	兵庫	美方郡新温泉町	H3.4.16
金田一温泉	岩手	二戸市	H6.4.28	十津川温泉郷	奈良	吉野郡十津川村	S60.3.19
鳴子温泉郷	宮城	大崎市	H28.5.20	熊野本宮温泉郷	和歌山	田辺市	S32.9.29
田沢湖高原温泉郷	秋田	仙北市	S42.10.19	龍神温泉郷	"	"	H8.5.2
秋ノ宮温泉	"	湯沢市	S53.3.31	鹿野・吉岡温泉	鳥取	鳥取市	S41.7.22
蔵王温泉	山形	山形市	S33.11.1	関金温泉	"	倉吉市	S45.3.24
銀山温泉	"	尾花沢市	S43.11.19	岩井温泉	"	岩美郡岩美町	S48.3.30
碁点温泉	"	村山市	S60.3.19	三瓶温泉	島根	大田市	S34.5.5
肘折温泉郷	"	最上郡大蔵村	H元.10.16	鷺の湯温泉	"	安来市	S37.3.10
湯田川温泉	"	鶴岡市	H13.11.13	湯原温泉	岡山	真庭市	S31.6.15
湯野浜温泉	"	"	H30.5.23	奥津温泉	"	苫田郡鏡野町	S41.7.22
あつみ温泉	"	"	R元.10.4	湯郷温泉	"	美作市	H29.5.15
由良温泉	"	"	R4.10.7	湯来・湯の山温泉	広島	広島市	S30.7.4
岳温泉	福島	二本松市	S30.8.24	矢野温泉	"	府中市	S47.7.29
新甲子温泉	"	西白河郡西郷村	S38.4.19	俵山温泉	山口	長門市	S30.7.4
土湯・高湯温泉郷	"	福島市	H11.4.20	三丘温泉	"	周南市	S36.4.1
二岐・岩瀬湯本・天栄温泉	"	岩瀬郡天栄村	H28.5.20	塩江温泉郷	香川	高松市	H14.3.29
奥日光湯元温泉	栃木	日光市	S29.10.11	湯ノ浦温泉	愛媛	今治市	H6.4.28
板室温泉	"	那須塩原市	S46.3.23	筑後川温泉	福岡	うきは市	S43.11.19
四万温泉	群馬	吾妻郡中之条町	S29.10.11	吉井温泉	"	"	"
鹿沢温泉	"	" 嬬恋村	S43.11.19	雲仙・小浜温泉	長崎	雲仙市(雲仙) (小浜)	S31.6.15 S37.3.10
みなかみ町国民保養温泉地 (上牧・奈女沢・湯宿・ 川古・猿ヶ京・法師温泉)	"	利根郡みなかみ町	H30.5.23	吉岐湯本温泉	"	吉崎市	S46.3.23
芦之湯温泉	神奈川	足柄下郡箱根町	H27.5.1	天草下田温泉	熊本	天草市	S38.4.19
岩室温泉	新潟	新潟市	S38.4.19	南小国温泉郷	"	阿蘇郡南小国町	S39.6.8
六日町温泉	"	南魚沼市	S39.6.8	湯の児・湯の鶴温泉	"	水俣市	R4.10.7
関・燕温泉	"	妙高市	S47.7.29	湯布院温泉郷	大分	由布市	R元.10.4
五頭温泉郷	"	阿賀野市	H28.5.20	竹田温泉群 (長湯温泉、久住温泉郷、 竹田・荻温泉)	"	竹田市	H27.5.1
白山温泉郷	石川	白山市	S36.4.1	鉄輪・明礬・柴石温泉	"	別府市	S60.3.19
下部温泉	山梨	南巨摩郡身延町	S31.6.15	霧島温泉	鹿児島	霧島市	S34.5.5
増富温泉	"	北杜市	S40.8.5	隼人・新川溪谷温泉郷	"	"	S42.10.19
丸子温泉郷	長野	上田市	S31.6.15				
田沢・沓掛温泉	"	小県郡青木村	S45.3.24				
小谷温泉	"	北安曇郡小谷村	S46.3.23				
白骨温泉	"	松本市	S49.3.30				
				合計79か所			

